安全データシート

作成日：2017/12/5

改訂日：2023/3/22

見直し日：2024/3/5

SDS No. MH10-70-007

---

1. 製品及び会社情報

製品名 ：	窒化ガリウム
会社名 ：	アジア物性材料株式会社
住所 ：	横浜市緑区中山二丁目 15-1
担当部門 ：	品質保証課
電話番号 ：	045-931-4841(代表)
FAX 番号 ：	045-932-8401
緊急連絡先 ：	同上
整理番号(SDS No.) :	MH10-70-007
想定される用途	電子材料、研究用途、他
及び使用上の制限 ：	想定用途以外へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 ： 皮膚感作性　区分１

GHS ラベル要素：

警告

有害性情報 ： アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ有り。

物理的及び化学的危険性 :データなし。

環境影響： データなし。

上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないまたは分類できない。

---

3. 組成、成分情報

化学名 ： ガリウムの窒化物

化学特性（化学式） ： GaN

濃度又は濃度範囲（含有量） 99.99% （微量金属に基づく）

官報公示整理番号 ： 1-(3)-409

(化審法・安衛法)

CAS No.： 25617-97-4

EINECS No.: 247-129-0

危険有害成分 ： 窒化ガリウム

---

4. 応急措置

吸入した場合 ： 直ちに新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。

皮膚に付着した場合 :多量の水で十分に洗い流す。皮膚に刺激又は発信が出た場合は、医師の診断を受ける。

目に入った場合 ： 直ちに流水で 15 分以上洗眼したのち、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 ： 大量の水又は食塩水を飲ませ、吐かせる。異常があれば医師の診断を受ける。

---

5. 火災時の措置

消火剤 ： 水噴霧、二酸化炭素、粉末・泡消化剤

火災時の特有危険有害性 :なし

特有の消火方法 ： 有毒なヒューム（またはガス）の発生は無いが、周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護 ： 消火活動は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 ：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、粉が皮膚に付着しないようにし、風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 ： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収、中和 ： 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い注意事項 ： 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項 ： 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件 ： 直射日光を避け、密閉して保管する。

技術的対策 ：　　特になし

混触禁止物質 ：　　データなし

安全な容器包装材料 ：PP、PE 等の密閉容器

---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 ：　　屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 :設定されていない

許容濃度

OSHA PEL：　設定されていない

ACGIH TLV(s)：　設定されていない

日本産業衛生学会 :設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 ：　　保護マスク（防塵）

手の保護具 ：　　保護手袋（ゴム、ビニール等）

目の保護具 ：　　側板付き保護眼鏡（必要により面体型）

皮膚及び身体の保護具 :長袖作業衣等

---

9. 物理的及び化学的性質

形状：	粉体
色：	黄白色
臭い：	無臭
融点：	>2500°C（ウルツ鉱構造の場合）
沸点（初留点）：	データなし
引火点：	データなし
自然発火温度：	データなし
爆発範囲（上限・下限）：	データなし
式量：	83.7297g/mol

10. 安定性及び反応性

安定性：	安定している。
危険有害反応可能性：	データなし。
避けるべき条件：	酸や塩基には不溶だが、紫外線を照射することで、強アルカリに溶解する。
危険有害な分解生成物：	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性 ：　　データなし。

皮膚腐食性・刺激性 ：　　皮膚に付着すると炎症を起こす可能性が有る。

眼に対する重篤な損傷・刺激性 ：　　粉体のため、目が損傷し、炎症を起こすことがある。

生殖細胞変異原性 ：　　データなし

発がん性 ：　　データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データなし

誤えん有害性：　　データなし

本品に関する有害性情報は非常に少ないため、使用者は未知の有害性が常に存在するもの

として十分な注意を払うこと。

---

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 ：　　データなし

残留性／分解性 ：　　データなし

生体蓄積性 ：　　データなし

水生環境有害性　短期（急性）：データなし

水生環境有害性　長期（慢性）：データなし

土壌中の移動性：　データなし

オゾン層への有害性：　データなし

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 ：　許可を得た産業廃棄物処理業者に処分を委託する。

汚染容器及び包装 :空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

---

14. 輸送上の注意

国連番号 ：　―

国連分類 ：　―

海洋汚染物質 :非該当

注意事項 :輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

---

15. 適用法令

消防法 ：　非該当

毒物及び劇物取締法 ：　非該当

労働安全衛生法 ：　非該当

船舶安全法（危規則）：　　非該当

航空法 ：　　非該当

化学物質管理促進法(PRTR 法) :非該当

---

16. その他の情報

引用文献 ：

１．化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ　化学工業日報社

２．労働安全衛生法MSDS対象物質全データ　化学工業日報社

３．化学物質の危険・有害便覧　中央労働災害防止協会編

４．化学大辞典　共同出版

５．化学品の分類及び表示に関する世界調和システム　化学工業日報社

６．GHS モデル MSDS 情報　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター　HP

本データシートは各種文献などに基づいて作成しておりますが、かならずしもすべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。